

平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年7月24日

上場取引所 大

上場会社名 FCM株式会社

コード番号 5758 URL <http://www.fc-m.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 市居 律雄

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役

(氏名) 川森 晋治

TEL 06-6975-1324

四半期報告書提出予定日 平成24年8月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	4,160	△24.3	△18	—	△3	—	△12	—
24年3月期第1四半期	5,497	37.1	62	△42.5	60	△55.8	33	△61.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
25年3月期第1四半期	△7.44	—
24年3月期第1四半期	19.65	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭	%
25年3月期第1四半期	9,684	—	3,517	—	36.3	—	2,064.26	—
24年3月期	9,818	—	3,548	—	36.1	—	2,082.18	—

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 3,517百万円 24年3月期 3,548百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
24年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	10.00	—	22.00	32.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期(累計)	8,200	△16.9	△47	—	△20	—	△46	—	△27.00
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

平成25年3月期の業績予想については、現時点で通期の合理的な業績予想の算定が困難であるため、第2四半期(累計)の業績予想のみ開示しております。業績予想の修正につきましては本日(平成24年7月24日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期1Q	1,704,267 株	24年3月期	1,704,267 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

25年3月期1Q	320 株	24年3月期	269 株
----------	-------	--------	-------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期1Q	1,703,987 株	24年3月期1Q	1,704,089 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。
2. 平成25年3月期の業績につきまして、平成24年4月26日に公表しました内容から変更しております。詳細は、平成24年7月24日付けの「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第1四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(6) セグメント情報等 .....	8
(7) 重要な後発事象 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間の業績は、売上高4,160百万円（対前年同期比24.3%減）、加工売上高731百万円（同10.9%減）、営業損失18百万円（前年同四半期は営業利益62百万円）、経常損失3百万円（前年同四半期は経常利益60百万円）、四半期純損失12百万円（前年同四半期は四半期純利益33百万円）となりました。セグメント別の業績概要は、以下の通りです。

#### (電子機能材事業)

電子機器や電子部品に使用されている材料・部品の表面処理加工を主とする電子機能材事業では、売上高は1,174百万円（対前年同期比5.0%減）、加工売上高は518百万円（同7.8%減）となりました。市場全体ではスマートフォンやタブレット端末関連が好調な一方、携帯電話・ノートPC・薄型テレビの需要低迷と在庫調整などにより厳しい状況が続いています。パワーエレクトロニクス関連も海外経済の変調を受けて停滞気味ですが、自動車部品関連は安定した推移となっています。当セグメントに属している研究開発費の負担もあるため、結果としてセグメント損失13百万円（前年同四半期はセグメント利益16百万円）となりました。

#### (電気機能線材事業)

電線・配線用ケーブル・通信用ケーブルなどの伸線加工を主とする電気機能線材事業では、前年同期に出荷が集中していた海外向け案件が当第1四半期にはなかったこと、および銅の価格水準が大きく下落したことなどにより売上高は2,986百万円（対前年同期比29.9%減）となりました。加工売上高は、設備用電線向け加工が低位ながらも安定して推移し、異型線分野での新規受注もわずかながらも寄与しましたが、前述の海外向け案件がなくなったため213百万円（同17.5%減）となりました。その結果、セグメント利益は9百万円（同77.7%減）となりました。

単位（百万円）

	平成24年3月期 第1四半期				平成25年3月期 第1四半期				増減率	
	売上高	構成比	加工売上高	構成比	売上高	構成比	加工売上高	構成比	売上高	加工売上高
電子機能材事業	1,236	22.5%	562	68.5%	1,174	28.2%	518	70.8%	△5.0%	△7.8%
電気機能線材事業	4,261	77.5%	259	31.5%	2,986	71.8%	213	29.2%	△29.9%	△17.5%
合計	5,497	100.0%	821	100.0%	4,160	100.0%	731	100.0%	△24.3%	△10.9%

(注) 当社では売上高から主要な材料費等を控除した金額を「加工売上高」と称し、経営指標として用いています。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

#### (貸借対照表の状況)

資産合計は9,684百万円となり、前期末に比べ133百万円減少しました。これは受取手形及び売掛金の増加35百万円のほか、現金及び預金が82百万円、有形固定資産が73百万円減少したことなどによるものです。負債合計は6,166百万円となり、前期末に比べ103百万円減少しました。これは買掛金の増加215百万円のほか、借入金が217百万円、未払法人税等が70百万円、役員退職慰労引当金が49百万円減少したことなどによるものです。純資産合計は3,517百万円となり、前期末に比べ30百万円の減少となりました。これは、前期の期末配当と当第1四半期純損失を反映したものです。

#### (キャッシュフローの状況)

営業活動によるキャッシュフローは205百万円の収入となりました。主な収入は減価償却費117百万円と仕入債務の増加額215百万円であり、主な支出は売上債権の増加額35百万円と法人税等の支払額68百万円であります。投資活動によるキャッシュフローは、有形固定資産の取得による支出52百万円などにより49百万円の支出となりました。財務活動によるキャッシュフローは、短期借入金の純減少額100百万円、長期借入金の返済による支出117百万円、配当金の支払額による支出17百万円などにより238百万円の支出となりました。

以上の結果、当第1四半期末の現金及び現金同等物の残高は前期末に比べ82百万円減少し、762百万円となりました。

### (3) 業績予想に関する定性的情報

当期における当社の業績は主要事業の属する市場での需要低迷、国内の電力供給問題、不安定な海外経済の影響もあり受注が伸び悩み大きく苦戦を強いられています。業績回復のため受注の確保・重点施策の実行に取り組んでおりますが、当初の業績予想を達成することが困難なため、平成25年3月期第2四半期の業績予想を修正いたします。

また、通期の業績につきましては、上記の状況から予想を達成することは非常に難しいと考えております。現時点では業績を予想することが困難であるため改めて発表させていただく所存であります。

詳細につきましては本日（平成24年7月24日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	844,648	762,589
受取手形及び売掛金	4,041,013	4,076,451
仕掛品	252,602	229,575
原材料及び貯蔵品	258,435	258,103
繰延税金資産	18,910	37,909
その他	58,680	69,034
貸倒引当金	△6,823	△6,897
流動資産合計	5,467,466	5,426,768
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	956,279	934,089
機械及び装置（純額）	870,490	872,583
土地	2,068,155	2,063,251
建設仮勘定	100,851	54,977
その他（純額）	118,446	115,666
有形固定資産合計	4,114,223	4,040,568
無形固定資産	35,262	34,076
投資その他の資産		
投資有価証券	23,525	22,521
繰延税金資産	164,606	149,550
その他	33,513	31,362
貸倒引当金	△20,462	△20,462
投資その他の資産合計	201,182	182,972
固定資産合計	4,350,668	4,257,617
資産合計	9,818,134	9,684,385

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,024,604	3,239,706
短期借入金	100,000	—
1年内返済予定の長期借入金	1,214,936	1,199,936
未払法人税等	73,937	3,718
その他	317,767	328,570
流動負債合計	4,731,245	4,771,931
固定負債		
長期借入金	1,104,328	1,001,844
長期未払金	8,116	8,116
退職給付引当金	313,976	326,004
役員退職慰労引当金	101,590	52,317
その他	10,839	6,774
固定負債合計	1,538,850	1,395,056
負債合計	6,270,096	6,166,988
純資産の部		
株主資本		
資本金	687,749	687,749
資本剰余金	826,871	826,871
利益剰余金	2,036,288	2,006,574
自己株式	△703	△773
株主資本合計	3,550,205	3,520,420
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△2,166	△3,023
評価・換算差額等合計	△2,166	△3,023
純資産合計	3,548,038	3,517,397
負債純資産合計	9,818,134	9,684,385

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	5,497,925	4,160,434
売上原価	5,109,601	3,851,357
売上総利益	388,324	309,077
販売費及び一般管理費	325,595	327,789
営業利益又は営業損失(△)	62,728	△18,711
営業外収益		
受取利息	5	4
受取配当金	290	470
助成金収入	—	13,862
スクラップ売却益	257	4,000
その他	2,237	1,823
営業外収益合計	2,791	20,162
営業外費用		
支払利息	4,687	4,147
売上割引	699	1,241
営業外費用合計	5,386	5,388
経常利益又は経常損失(△)	60,133	△3,937
特別利益		
固定資産売却益	—	761
特別利益合計	—	761
特別損失		
固定資産売却損	679	4,187
固定資産除却損	1,187	—
減損損失	—	6,929
特別損失合計	1,867	11,117
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	58,265	△14,293
法人税、住民税及び事業税	9,723	1,852
法人税等調整額	15,056	△3,471
法人税等合計	24,780	△1,619
四半期純利益又は四半期純損失(△)	33,485	△12,674

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	58,265	△14,293
減価償却費	111,538	117,150
減損損失	—	6,929
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△4,472	△49,273
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	8,963	12,028
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	356	73
受取利息及び受取配当金	△296	△475
支払利息	4,687	4,147
有形固定資産売却損益 (△は益)	679	3,425
固定資産除却損	1,187	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△172,202	△35,438
たな卸資産の増減額 (△は増加)	12,598	27,326
仕入債務の増減額 (△は減少)	721,209	215,101
その他	△72,901	△8,305
小計	669,614	278,396
利息及び配当金の受取額	296	475
利息の支払額	△4,520	△4,109
法人税等の支払額	△137,454	△68,918
その他	1,532	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	529,468	205,844
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△300	△323
有形固定資産の取得による支出	△489,393	△52,097
有形固定資産の売却による収入	73	1,060
その他	△885	2,123
投資活動によるキャッシュ・フロー	△490,504	△49,238
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	△100,000
長期借入れによる収入	300,000	—
長期借入金の返済による支出	△39,154	△117,484
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△4,064	△4,064
自己株式の取得による支出	—	△70
配当金の支払額	△90,341	△17,046
財務活動によるキャッシュ・フロー	166,440	△238,665
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	205,403	△82,058
現金及び現金同等物の期首残高	317,224	844,648
現金及び現金同等物の四半期末残高	522,627	762,589

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第1四半期累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	電子機能材事業 (千円)	電気機能線材事業 (千円)	合計 (千円)
売上高			
(1) 外部顧客への売上高	1,236,357	4,261,568	5,497,925
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	1,236,357	4,261,568	5,497,925
セグメント利益	16,978	43,154	60,133

(注) 1. セグメント利益の合計は、四半期損益計算書の経常利益と一致しております。

2. セグメント利益には適当な配賦基準によって各報告セグメントに配賦された全社費用を含んでおります。なお、財務収益費用についても全社的に管理されておりますが、金額的影響が軽微であるため各報告セグメントに配賦しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	電子機能材事業 (千円)	電気機能線材事業 (千円)	合計 (千円)
売上高			
(1) 外部顧客への売上高	1,174,070	2,986,363	4,160,434
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	1,174,070	2,986,363	4,160,434
セグメント利益又は損失 (△)	△13,542	9,604	△3,937

(注) 1. セグメント利益の合計は、四半期損益計算書の経常利益と一致しております。

2. セグメント利益には適当な配賦基準によって各報告セグメントに配賦された全社費用を含んでおります。なお、財務収益費用についても全社的に管理されておりますが、金額的影響が軽微であるため各報告セグメントに配賦しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

当第1四半期累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日）

当社は厚生施設及び倉庫として使用していた資産（建物）を除却撤去することを平成24年7月17日に決定いたしました。これに伴い、平成25年3月期第2四半期会計期間において、固定資産除却損（約33,000千円）を特別損失に計上する予定であります。